

建設産業委員会会議録

平成 26 年 3 月 4 日 (火)

午後 1 時 35 分 開会

○小出義一委員長

委員会を再開します。閉会中の調査事項について、を議題とします。

最初に建設産業委員会のこれまでの経緯と提言(案)について、少しまとめて参りましたので、内容について確認をしていただきたいと思います。

【委員長から資料に基づき説明】

暫く休憩します。

休憩 午後 1 時 45 分

再開 午後 2 時 50 分

○小出義一委員長

委員会を再開します。

○中川健一委員

前回の宿題が三位一体の話をどうやっていくかを委員長が提案をするということで、今日この資料ができてきた訳です。私もこれを熟読しましたが、これで本当にジオラマが作れるような内容なのかなと考えると大幅に変えなければならないと思いますので、僕はみんなで意見を言ってゼロから作り直さないといけないのかなと思います。もう1つの、それを踏まえてどうするかは一回カクサンさん達と本音のトークという場をきちんと持って、全員一緒にいくなりして、一杯やるなり私はきちんとやっていくべきだと思います。そういうことで具体的に進めたいと思いますが、まず協議会のことですが、市としての組織として正式な位置づけというところがよくわからないですけれども、いずれにしても今まで建設産業委員会としてやってきている訳ですから、我々議会をベースにして行政の人と地域住民の代表と一緒にジオラマを具体的に作っていくんだよ、というスタンスの会を造れば良いと思います。わかりますか。

カクサンさんが任意団体をやると言っている組織についてはちょっとどう取り扱うかは慎重に考えた方がいい訳ですが、カクサンさんからは別にちゃんと意見をもらえばいい訳ですから。それを任意団体にするのか正式な会にするのかは本人に聞いてみながらやっていかないと、本人はどういう意味合いでああいうことを言っているかは直接聞いていませんので。それは聞いてカクサンさんの意見がJR半田駅前の全体的な意見になれるような形で、我々は意見を聞いていくことがいいのではないかなということです。何にしてもこれはメンバーなどごちゃごちゃありますが、具体的にジオラマを作って、地元の代表の意見は代表の意見としていろいろでくるでしょう。でもそれには実際やれることとやれないことについて、向こう側が全て判断できることではないので、我々が接着剂的に判断して、役所にも支持して検討させれば良いと思います。そういう役割を議会は担いながら三位一体でジオラマを作っていく。作っていくと言っても、主は地元の人たちが中心となって作っていかなければならないと思いますけれど。それを受けて最後、公的に議会として意見を挙げていくということじゃないかなと思います。

○小出義一委員長

ちょっとお聞きします。街づくり協議会のなかで、具体的にジオラマを作るということが必要であれば、作っていくという進め方は差支えないです。ジオラマを作ることを主体で作っていくという考え方ですか。

○中川健一委員

ジオラマを作るというのは例えであって、地元の民意を代表した、おまけに都市計画の観点からも素晴らしいプランであって、なお且つ、実行可能であるというものを作ろうという意味合いのものを作ろうということです。だから、街づくり協議会がもしも議会と関係の無い所でやってしまい、それが100パーセント議会の根回しがされていて、実行可能かどうか調整できたプランとして出来上がるものであれば、そういう方向もあるとは思いますが、そこがどうだろうと思います。分離したものではありませんので。

○小出義一委員長

基本的には、私の見解とは少し違うかもしれませんが、街づくり理念、街づくりビジョンというものがあつた上で、具体的なハードの部分はどう作っていくのか、ということがいるのかなと理解をしていました。その為のソフトな理念であったり、プランを考えていくところが協議会で、それに基づいて具体的に街のレイアウトを考えていく中で、今のジオラマもでてくるのでは、と思っていたのですが、中川委員が言われるのはジオラマを作ることを先行した組織をつくるという風に聞こえるのですが。

○中川健一委員

落としどころがそこだよ、と言っているのです。もちろんそのプロセスでいろんな意見が出てくると思いますが、僕が言ったのは、我々建設産業委員会としての最終的なプロセスはプランをつくるということで最初にやっている訳ですから。そのジオラマの意味というのは素晴らしい街のプランで、実行が可能であり、予算的の措置も事前にやるという意味で言っています。

○小出義一委員長

ではジオラマにこだわるかどうかは別として、具体的に伝わるものまで作っていきたいということが意見としてでていたと思いますので、今お聞きしたことは街づくりビジョンに基づいて出てくるということですか。

○中川健一委員

もちろんそういうことです。

○小出義一委員長

ということは仮称街づくり協議会のような組織、組織の中身はまだ考えていませんが、そういうものを作っていくためにやっていくということで、全然違うことをやっている訳ではないですね。

○中川健一委員

それは同じですが、この市として正式な位置づけとするとか、組織構成案が現実的なのかなと思えてきます。

○小出義一委員長

市の事業のという言い方をした方がいいのかもしれませんが、予算がつかないとジオラマも作れないし、いろんな費用も要するという意味合いで、市としてという表現を使いました。正確に伝わらないというということであれば、表現を変えることは厭わないです。

最初から街づくり協議会の分科会、作業部会であったりするものをイメージするのでは無く、まずは三位一体として取り組んでいくんだということを謳うことの方が大事だという認識でみなさんよろしいでしょうか。

一番問題なのはこの協議会という組織をつくる前の段階でやるべきことがあるだろうということでご指摘をいただいていると思います。

○新美保博委員

遠慮していつている。せっかく作ってくれたから。何がこれでいいでしょうか。ペケに決まっている。こんなこと会議に出すこと自体間違っていると言いたくなる。せっかくペーパーで出すとこれを作ってきたから遠慮してこれが役立つことがあるだろうと言っているだけだ。まだわからないのかな。ここに書いてある4分の1はみんなが確認してきたこと。これは書かなくてよい。こんな組織なんて必要ないからいらないんだって。現状認識したことをどうするかが書かれていなければいけない。そしたらここに組織をつくることと書いてある。それは違うよと言っている。

○小出義一委員長

現状認識は空き地・空き店舗、地権者との話し合い、情報共有をしながら街が一体となったイメージの中で、ジオラマという表現がありましたが、レイアウトに基づいて誰が話を進めていくのかという中で、協議会が要るのかなと思っている訳ですが。そういったことが具体的に何をしていくという説明が足りないということでしょうか。

○新美保博委員

協議会でなければできないのか。

○小出義一委員長

協議会でなくてもいいですが、そういったことを取り組んでいく、場や役割を担っていくものが欲しいと思っています。

○新美保博委員

今からどうしていききたいのか自分で言って。こっちが言ったことを、それでいいですかとなるからこうなるんだ。このことを受けて自分がどうしたいのか。協議会を作ってやっていきたいという思いがあるならそれもよし。言ってよ。これが答えなのか。そうでないならこれからどうするのか言ってよ。

○小出義一委員長

今方向として、一番印象的に残っているのは街づくりの共通の認識を作っていくということ。それが必要だと思っています。1人だけでなく、大勢の方が街づくりについて、地元の方が中心となって語っていく場が欲しい。それは商店街の方も、住民の方も一緒になって立場が違ってても共有の認識を作って賑わいづくり、を中心にして街の目標を達成していくような活動がこれからいるだろうと思っています。賑わいづくりをしていこうという時に、懇談会の中でいろいろお聞かせいただいた中で、空き地、空き店舗の利用を促進する為に法も一

元化しなければいけないし、それに対してどういう街づくりの中で、利活用を高めていく、誘致をしていくということを活用として進めていかなければいけない、ということがあったと思います。そして、細かい土地だけでなく、企業さんの持っている土地もあり、そういったものについても個々の話し合いが難しいと感じますので、地元としてのある程度の合意を作りながら相手と交渉していくことも必要だと。そういうことがあって街づくり協議会が地域としての総意、意思となるようなものとして必要だと思いますので、それを立ち上げていくことが、今のJR半田駅前の地区の開発について必要だろうと思います。

地域全体の中で景観形成を進めていく取り組みの中で、一緒に進めていくためにも組織が必要だと思っていますので、そういったものをやっていく為に協議会組織が必要だろうと提案しております。

組織のねらいというところが、堅苦しく書いてあるかもしれませんが、今まで懇談会で出てきた、前へ進まない部分について、行政とも語り合って進めていく中で、組織としての対応が要るのかなということで街づくり協議会というイメージをしています。

○岩田玲子副委員長

その協議会というのは前段階で本音を聞ける場所を設けて、中川議員がおっしゃっていた酒場でもなんでも構いませんが、そういう場所ででてきた話から協議会が自然と生まれることがいいのかなということで、そういう場を作ることが大事だと感じました。その点についてはどうお考えですか。

○小出義一委員長

街づくり協議会が必要だと思いますが、いきなりそこにいく前に必要なことが多々あると思いますが、地域で声をかけたメンバーがわかったと言って振り向いてくれて一緒に汗をかくてくれるということになるかどうかについてはやってみなければわからないということもあります。その中で必ず通っていかなければならない道の一つとして本音で語り合う場は必要だと思います。議会と地元という間でも同じことがまだまだたくさんあると思います。街づくり協議会と書いていますが、いきなり作りましょうと言ってすぐに動き始めるものではないですから、具体的にどういうものか詰めていく必要はあると思います。

○沢田清委員

副委員長の言った意見のお答えとしては、そういう風にしようと思っています、という先が必要ですが。本音でしゃべれる場所を設定してください、ということではなかったですか。

○岩田玲子副委員長

そうですね。協議会が自然にじゃあやりますよとなるには、どこかで本音で話をしたり、話し合いをしないと何も生まれてきませんので、例えばカクサンさんの夢が聞ける場所や、そういったものをざっくばらんに話し合える機会を設けてほしいと思います。

○小出義一委員長

全体の流れでいいのかはわかりませんが、次のステップとして、委員会の閉会中の調査事項と限定しますが、交流が必要だと思います。向こうがどう思っているかという点で、全部の話が行き止まりになっていると思いますので、次は向こうからボールが投げられてくるようなこともなくてははいけないですが、まずはざっくばらんな状況をつくる為にもこちらから

そういう機会をつくりましょうと提案をしていくことが、当面一番早くやらなければいけないことかなと理解しています。さっそく声を掛けていこうと思います。

○沢田清委員

その時にはこれはまだ要らないということだね。

○小出義一委員長

具体的にはですね。これやめます。ということではありませんが、この前のことを解決していくには、何らかの組織を作っていかなければいけないという認識ではあるよと。向こうが来るまで待つということですか。

○新美保博委員

来る、来ないはタイミングの話。正直言うと嫌になりました。同じことを堂々巡りで話しているだけで、こういった会の取り回しは勘弁して欲しい。先ほど委員長がいった共通認識をつくるだとか、地元中心どうのこうのは当たり前のことであって、目指すべきところの夢だと思う。それを実現するためにはどうするという具体案を出さなければならない。だから何をやるのと聞いている。現状認識にしろ、課題の整理も然り、それはできている。そこまではみんなわかっている。その後どうするんだ。何をやるんだということを聞きたい。今に至っても、組織をつくる為に必要なことを言っているが、だれも組織を必要だと思っていない。いずれはいるかもしれない。その必要性は3者が話し合ったときにこれでは会議が進まないね、じゃあ分科会をつくってやりましょうと、なって初めて必要となる。組織を作ることが目標じゃないと言っているのに、組織を作ることが目的だと言っている。何時間も同じことを言わされている。勘弁していただきたい。

できていることは現状認識と課題の整理。起承転結の起はできている。2として承をどうするのか。どのような解決策があるのか。これは夢かもしれない。地元を中心にやるだとか、街づくりの目的はこうだというのは夢かもしれないが、それをやるのが承だとするならば、じゃあ今から何をやるんだとここで転がでてくる。この転が、協議会をつくるのが転になっている。そうじゃないんだと。なぜ3者が、表現が悪いが裸になって、どうするんだ、これ。このまま放っておくのが1つ。このままでは放っておけないから俺たちは課題にしたんでしょう。だったらどうするんだということを話し合う場を作らなければいけない。それを、協議会を作る為に必要とあらば、と言っている。前から言っているが協議会はどちらでもいい。どうするかということの本音で語り合う場を作らなければならない。未だにわかっていない。勘弁して欲しい。3月の会にこの資料を出すのは止めてくれ。どうしても出すと言って決をとるならば、俺は反対だ。既に失敗している。出してはいけないものを出して、出さなきゃいけないものを出していない。わかっているでしょう。500万円の補助金の話は出してはいけないとわかっているでしょう。こっちの手の内を明かしている。こんなことやる必要はなにもない。それよりも大事なことははっきりとどうするんだということを3者が腹を割って、どこを解決の目標とするかを話さなければいけない。その為に必要とあらば、組織を作ることもやぶさかではない。

○小出義一委員長

ありがとうございます。新美委員から三位一体という3者が話し合う場を作ることが先決

であるというご提案がありました。これについてみなさんご意見ありましたらお願いします。

○新美保博委員

他の意見はいい。あなたの意見があれば言ってくれ。

○小出義一委員長

その通りだと思います。

○新美保博委員

そう思うなら、なぜやらなかったのか。今言われてそう思ったのか。

○小出義一委員長

3者というのは懇談会とは違いますか。

○新美保博委員

じゃあどういう意味でその通りだと言ったのか。

○小出義一委員長

懇談会を2回やって、少し立場が変わって、3者が一緒になって街づくりをしていかなければならないという立場で新たにしきっていくということになるので、少し意味合いが変わってくるとは思いますが、2回の懇談会をしたことでこういう方向がでてきたのかなと思います。そういう理解ではいけなかったでしょうか。

○新美保博委員

街づくりの現場の声を聞かなければいけないと言って始めたことだけれども、当初から言っていたことだ。今に始まった話ではない。3者が隔てなく、同じ土俵で話せる場を作らなければいけないよと言っていた。それが開催されていないのはなぜと聞きたい。聞けば必要だと思っているのになぜ開催しないのか。決定打があったのは2回の地元の方と話したことだ。向こうの人たちもそう言っていた。それが実現されないのはなぜ。そういう曖昧な考えは、みんながそう思っていることが私もそう思う、という風だからこうなる。それまではそうではなかった。組織をつくるのが大事だといった。なんで言っていることがころころ変わるのか。

○小出義一委員長

組織が必要でなくなったとは思っていませんが、前段で共通認識を作る為に3者で話し合うことに異論がある訳ではもともとないですし、その為に2回の懇談会を開いてきましたので、この次の進め方についても委員会だけで方向性をつくっていくのではなく、3者で方向を作っていくということが一番いい道であると理解しています。皆さんがそれでご承認いただければそういう方向を作っていきたいと思います。

○新美保博委員

3月6日にカクサンさんと話すときには何を話すのか。

○小出義一委員長

先回の25日の委員会が終わった時に、カクサンさんがどういう意図を持って、責任を持って進めていくと言ったかを、みなさんが注目していただいていたので、電話で確認させていただいた経緯があります。電話だけでは不十分だし、委員会としての気持ちも伝えていきたいということで、正副委員長で会ってお話ししていこうということで、日にちを決め

ていました。28日の段階で早々に協議会を作っていくのなら、どういうものを作っていくのかイメージの摺合せを為し、今日の日を決めていただいたと流れだと思っています。

○新美保博委員

じゃあ6日にこれを提示しようと、今日合意をとろうとしたが、合意がとれなかった。だったらどうするのか。

○小出義一委員長

街づくりについて3者で話し合う場を作っていくということと、地元としての合意づくり、組織づくり、今はカクサンさんと一部の人の感じもしますので、もう少し合意形成できるような動きを作り、地元として作っていくようまとめていかないか。そんな話をしていきたいと思います。そうしないと今後3者で話し合う場ができたとしても、次に街づくり協議会をつくるとしても一足飛びには進みませんのでそういった気運と感触を作りたいと思います。

○新美保博委員

言葉尻をとって、揚足をとるようで嫌だけど、一足飛びにいかないと思うのなら、なぜ一足飛びでやるのか。言っていることとやっていることが違う。これで最後にする。もうしゃべらない。しゃべったら、そう思っていましたと嫌だから。好きにやってくれ。

○小出義一委員長

ご一任いただいたとは思っていませんが。

○新美保博委員

ふざけるな。一任じゃないなんて当たり前だろう、そんなこと。

○小出義一委員長

そんなふうには思いませんよ。

○新美保博委員

当たり前だて。言うことじゃない。

【「暫時休憩」の声あり】

○小出義一委員長

暫時休憩します。

休憩 午後3時27分

再開 午後3時34分

○小出義一委員長

用意した資料でまとめがうまく進まず申し訳ありませんでした。解決策になるかわかりませんが、次のアクションの中で方向を作らなければよろしくない訳ですが、せつかく本音を語る場と言っていただきました。これは委員会の中でのコミュニケーションも含めてやっていかなければならない部分もありますので、そういう機会を通じて次のステップにつなげられるよう努力したいと思います。本日これ以上前に進まないかなと思いますので、本日の協議はこの程度にとどめたいと思います。よろしいでしょうか。

○中川健一委員

6日は特別な用事があるて行くわけですか。本音トークをやる訳ですけれども。

○小出義一委員長

前に言っていたのは8月までに組織を立ち上げるとか、どこまでやるという話が25日に
でていましたので、どういう真意なのか、そこまで自分たちだけでやるつもりなのかどうい
った意味で言われていたのかを確認するように皆さんからも言われていましたので。電話で
はしましたが、具体的にどう進めるつもりがあるのかという点についてはまだ話しておりま
せんので、それについて話したいと思いましたが、またある程度議会の進め方についてもまと
めたものを示していきたいと思いましたが、今日話し合ったことをということで思っていま
す。

○中川健一委員

本音を聞くわけだから、議会で話してあんまり事務的に聞くわけではなく、ざっくばらん
に、8月にむけていろんな話をしなければいけないということになったので、という風にし
た方がいいのではと思います。聞いてもらうのは構いませんが。

○小出義一委員長

簡単に終わるかもしれませんが。一応正副で行って、そんなに長い話にはならない
と思いますが。

○岩田玲子副委員長

ざっくばらんな委員会での見解を伝えられないとまずいのかなと思っています。そのざっ
くばらんなレベルのものがひとつなのか、個人の意見でいいのか。

○中川健一委員

僕の意見ですが、この前むこうが、議会のアイデアをとりあえず出しましたが、そういう
ベースも1つあると思います。ただ、これで行こうと決めたわけではないし、選択肢という
段階です。今まで行政に依存していた街づくりから市民が立ち上がって主体的にやって
行政と議会をつかひながらやってもらうというのは地域にも伝わっていないといけない。そ
の中で向こうが出してくアイデアとこちらが追加で調査・研究するなかでいいものが作られ
ていくのではないかなと思います。この前出したのは1つの思案なので、こちらが先にこれ
だと決めるのはおかしいですし、ベースは地元からでてくるものだと思いますので。

○小出義一委員長

本音トークのなかでそういった具体的にどういうプランを持っているのか、共鳴があるの
か、違う考え方があるのかそういうことも確認できればと思います。そのやる気度も一緒に
推し測っていければと思います。

○鈴木好美委員

6日は委員長と副委員長が行って、今度の日をにちを決めるということですか。

○小出義一委員長

それは先に決めます。日程は今日にでも連絡します。6日はアポがとってありますので、
趣旨を簡単に説明したいと思います。

○沢田清委員

さっき言わせてもらったのは、6日が一番近い訳だから、その時間にいける委員の方を一
緒に連れて行ってお話しした結果を2人に教えてください。そこが第一段階、思いが上手に

伝わるチャンスだと思います。

○小出義一委員長

6日の午後2時に市街地整備課で約束をしていますので、正副委員長で行きますが、共通認識を作る為にご参加いただける方がいればお願いいたします。

【発言するものあり】

○小出義一委員長

では来ていただけるをお願いします。他にありませんか。

【発言するものなし】

○小出義一委員長

みなさんにはご迷惑をかけ申し訳ありませんがまたご助言いただければと思いますよろしくをお願いします。これで会議を終了します。

閉会 午後3時44分